

### 1. はじめに

12 月 10 日金曜日の授業を持ってレスター大学語学学校における 10 週間のプログラムが終了した。10 週間という期間は想像していたよりもあっという間だったが、有意義な時間を過ごすことができた。今回は留学全体を通しての報告を行う。

### 2. 学習面

12 月 1 週目に Project2 と呼ばれる自身の専門に関するレポートの提出があった。そのため授業は文献の引用の仕方や、Paraphrasing ができているかの確認など Project2 をベースとした授業がメインであった。2 週目は 4 技能のテストが 3 日間にかけて行われた。

授業は Reading & Writing, Listening & Speaking, Project という 3 つの科目があったが、どの授業もクラスメイトと議論することが多かった。最初は他の人との英語力の差、わからないことがあるとその場で聞くクラスメイトについていけないことが多かった。間違えるのが恥ずかしいという気持ちが最初は大きかったが、黙っていても状況は変わらないので、分からないなりに積極的に質問することを心掛けることで、間違えることを気にしなくなった。またクラスメイトと仲良くなるにつれて間違えても恥ずかしいと感じなくなり、信頼関係を気づいていくことが自分の成長においても大切であると感じた。授業全体を通して分からないことはすぐに聞くこと、議論において自分の意見を理由と共に示すことの重要性を学んだ。

### 3. 生活面

渡英する前は実家で暮らしていたため、今回が初めての一人暮らしになった。平日は終日授業や課題で追われていたため、週末に食材を買って平日分のご飯を作っていた。平日はできる限り弁当を作り、学校にある common room で毎日クラスメイトと昼食を食べた。イギリスのレストランの価格は日本と比較すると倍近くし、味もまあまあなところが多い印象がある。スーパーに関しては、寮の近くに Morrisons と Tesco という大きめのスーパーマーケットがあるが、果物や野菜は日本よりも安い種類が少ない。しかし、Chinese supermarket がたくさんあり、日本食が食べなくなった時は、そこに行って日本の調味料や食材を買い足していた。

寮は 4 名のフラットメイトがおり、キッチンのみ共有だった。フラットメイトの 3 名はイギリス人で夕飯の時間が被れば一緒に食べたり、ゲームをしたり映画を一緒に見ることもあった。私の友達には皆イギリス以外の国出身だったので、フラットメイトの子が唯一のイギリス人の友達だった。そのためブリティッシュ英語を聞くとてもいい機会だった。

11 月に体調を崩してしまったときに、OSSMA に相談するとその日のうちに日本人の先生を紹介してもらいオンラインで 2, 3 回診察してもらった。また薬も処方してもらい完治することができた。日本にいるときは体調を崩すことがほとんどなかったため、バランスの良い食事をすることの重要性や留学が思っている以上にストレスのかかる環境であると改めて感じた。

授業以外では、毎週月曜日に Globe café という様々な国籍の学生が集まる活動に参加しイギリスの文化を学びつつ様々な学生と交流を図った。授業以外でも英語を話す機会をもつことができ、また新しい友達に出会えるいい機会になった。

4. これからについて

3年以内に海外で働く。英語でのコミュニケーションを通して、自分と異なる価値観を知り、自分の当たり前を常に見直しながら生活するのが楽しい。そのために日本にいても更なる英語力向上を目指す。

5. さいごに

2020年4月の留学予定だったがコロナウイルスの影響で何度か延期し、今回やっと渡英することができた。短い期間の中で日本ではできない経験を得たいと積極的に様々なイベントに参加することで良い出会いにも恵まれた。このような素晴らしい経験を得られたことに感謝する。また、深い理解と多大な協力をして下さった、留学支援課久郷さん、藤村さん、伊丸岡先生に感謝申し上げます。